

R7年度 とうきょう
すくわくプログラム



ひよこハウス豊田

<テーマ>

光（0才～2才）

<テーマの設定理由>

窓ガラス面が大きく、保育室の色々な角度から光が入るため
子ども達が日常生活で触れる身近なものであること。
そして、光がある・ないの違いや、光のできる楽しいことの発見を楽しむ。

<活動スケジュール>

- R7、6月～ *こども達の反応を記録し活動を写真におさめる
- あさがおの種をまく、陽のあたる場所とあたらない場所で育てる
 - あさがおの水やり・変化を観察
 - お部屋や戸外活動で光と影を探す（0才児ウォーターマット活用）
 - 活動内容の成果と評価を職員間で共有する

<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

準備したもの：あさがおの種・プランター・ウォーターマット・カラーセロファン
環境設定：陽のあたる場所とあたらない場所で育てる為の環境設定
保育室の窓ガラス近くにウォーターマット設置

<活動の内容>

- ☆土の感触を楽しみながら種をまき、毎日水やりをしてあさがおの成長を観察する。
- ☆陽のあたる、あたらない場所での成長の違いに気がつく。
- ☆あさがおの花びらで色水をつくり、染め物を楽しむ。
- ☆窓ガラスから差し込む光に、セロファン当て床に映る様子を見る
- ☆光に当たるウォーターマットを楽しむ
- ☆戸外活動中に光と影探し
- ☆夏の日差しは、「暑い」・冬の日差しは、「暖かい」を感じる

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

☆2才児

- ・あさがおの種をまく時、「土は黒いね」「あさがおは、朝に咲くんだよ」とお友達同士の会話があった。「なぜ朝に咲くのかな？」と保育士が聞くと「朝がおだから(^ ^)」と。
- ・毎日の水やりを楽しみにしていて、「今日は、私たちのグループの番」と順番を守り、他のグループの水やりを見守れる姿もあった。
- ・「早く咲いてね～」と声掛けをしていた。
- ・芽が出たら更に楽しみが増したようで「早く咲かないかね」「何色が咲くかな」と子ども同士の会話も増えていた。
- ・陽にあたっているあさがおが咲き始めた頃、陽にあたらないあさがおは、「なぜ咲かないのか？」と保育士に質問があり、「咲かなくてかわいそう」と悲しむ子どもの声があった。
- ・「お日様にあたってないからじゃない？」ひとりの子どもの発言で、「そうだ！暗いところにいるからだ」と気づきがあった。
- ・「あたたかい場所に引越しする？」と保育士が聞くと「うん、お引越ししよう」と、嬉しそうな顔でお引越しを手伝う姿が見られた。

☆0才～1才児

- ・保育室でウォーターマットを広げ、窓から差し込む光で揺れる光をみて、保育士の顔を見て、指を差し不思議そうに見ていた。
「キラキラしているね、きれいだね」と声を掛けた。
- ・散歩中にお友達の影や葉っぱの影を楽しんでいた
- ・夏は日陰探し、冬は日向探しの散歩を楽しんだ。
「寒いからお日様とところに行こう」と子ども（2才児）の発言があった

<振り返りによって得た先生の気づき>

2才児に毎日の水やりをお願いしたところ、「今日は水やりの番だから」と登園を楽しみにしてくれる姿や、成長を気にしている姿があり、小さな責任感を感じられた。日陰の咲かなかつたあさがおを「かわいそう」と表現し、お日様にあたっていないからと、気づいたことに保育士も驚きがあった。

花びらで色水を作り、染め物に挑戦。

種まきから染め物まで全部“自分たちが咲かせたあさがお”という自信を感じた。

〇 1才児、保育室に差し込む光で、キラキラするウォーターマットを見つめ、保育士に教えようとしてくれる姿がとても可愛らしかった。

